

患者向医薬品ガイド

2020年7月更新

治療用ダニアレルゲンエキス皮下注「トリイ」 1,000JAU/mL
治療用ダニアレルゲンエキス皮下注「トリイ」 10,000JAU/mL
治療用ダニアレルゲンエキス皮下注「トリイ」 100,000JAU/mL

【この薬は？】

販売名	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 1,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 10,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 100,000JAU/mL
一般名	コナヒョウヒダニエキス、ヤケヒョウヒダニエキス		
含有量 (2mL中)	コナヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 0.01mL 及び ヤケヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 0.01mL	コナヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 0.1mL 及び ヤケヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 0.1mL	コナヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 1mL 及び ヤケヒョウヒダニエキス 10,000AU/mL 1mL

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ダニから抽出したエキスを原料とする減感作療法（アレルゲン免疫療法）の薬です。
- ・この薬は、少量から注射し、徐々に増量して、体を慣らすことでダニが原因となるアレルギー性鼻炎や気管支喘息（きかんしぜんそく）の症状を徐々に弱めます。

- ・次の目的で、医療機関で使用されます。
- ダニ抗原による下記アレルギー性疾患に対する減感作療法
アレルギー性鼻炎、気管支喘息**

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬を使用する前に、皮膚反応テストまたは血液検査が行われ、医師がダニアレルギーであるか診断を行います。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・重い気管支喘息（きかんしぜんそく）の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・過去にこの薬やアレルゲンエキスによる診断・治療により、ショックやアナフィラキシーなどのアレルギー症状をおこしたことのある人
 - ・悪性腫瘍、または免疫系に影響を及ぼす全身性の疾患（例えば自己免疫疾患、免疫複合体疾患、または免疫不全症など）を伴う人
 - ・高齢の人
- この薬を使用することにより、ショックやアナフィラキシー、喘息の増悪などの重篤なアレルギー症状をおこすことがあります。
次のショック、アナフィラキシーを早期に認識しうる症状があらわれた場合には速やかに医師に連絡するなどしてください。

【ショック、アナフィラキシーを早期に認識しうる症状】

口腔内異常感、
皮膚のそう痒感、蕁麻疹、赤い発疹・皮膚の発赤、
胃痛、腹痛、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、
目が見えにくい、視野が狭くなる、
鼻づまり、くしゃみ、しゃがれ声、
咽喉頭（いんこうとう）そう痒感・異常感、
胸がしめつけられる感じ、息苦しさ、息切れ、咳、
唇・手足の爪・皮膚が青紫色～暗紫色になる、
頭痛、耳鳴、
不快感、さむけ、四肢や顔のしびれ、顔が赤くなる、汗をかき、
めまい感、手足の震え、蒼白（そうはく）、動悸（どうき）、頻脈、不整脈、
血圧低下、
不安、恐怖感、判断力の低下など

- 他の減感作療法（アレルギー免疫療法）薬との併用によりアナフィラキシーなど副作用の発現が増加するおそれがあります。これらの人は必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 非選択的β遮断薬（高血圧・狭心症・不整脈などの薬）を使用中の人、三環系抗うつ薬及びモノアミンオキシダーゼ阻害薬（遺尿症、うつ病、パーキンソン病などの薬）を使用中の人、または重い心疾患、肺疾患、高血圧症の人では、この薬によるアレルギー反応の処置の場合など注意が必要な場合があります。これらの人は必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 経口または注射のステロイド薬を使用中の人は、この薬の効果が得られない可能性があります。これらの人は必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用濃度、使用量（増量、維持量など）、使用回数は、患者さんの症状などにあわせて医師が決め、医療機関において、皮下に注射します。

また、増量を急速に行う場合などは、患者さんの状態にあわせて、入院などにより使用することもあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 次の場合には、医師または薬剤師に相談してください。
 - ・喘息発作や症状が激しいとき
 - ・感冒（かぜ）など体調がわるいとき
- 注射部位はもまないで静かにおさえてください。
- 注射後少なくとも30分間は、医療機関で安静にしてください。
- この薬を注射する前と、注射後2時間は、激しい運動、飲酒、入浴などは避けてください。また、注射後2時間以降にこれらを行う場合にもアナフィラキシーなどの副作用の発現に注意してください。
- 投与開始数時間後、または1～2日後に強い反応があらわれることがあります。ショック、アナフィラキシーを早期に認識しうる症状があらわれた場合には速やかに医師に連絡するなどしてください。【この薬を使う前に、確認すべきことは？】を参照
- 症状が改善しても、すぐにこの薬による治療を中止すると再発する可能性がありますので、使用の中止については医師または薬剤師に相談してください。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある人は医師または薬剤師に相談してください。
- 授乳中の人は授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？




特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、重大な副作用に記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
 このような場合には、ただちに使用をやめ、医師などに連絡し、指示に従ってください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック、アナフィラキシー	冷や汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい、動悸、じんま疹

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗が出る、手足が冷たくなる、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白、
口や喉	喉のかゆみ
胸部	息苦しい、動悸、
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

販売名	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 1,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 10,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 100,000JAU/mL
容量	2mL バイアル	2mL バイアル	2mL バイアル
性状	無色～褐色の澄明の液であり、振り混ぜるときわずかな浮遊物を認めることがある。		
形状			

【この薬に含まれているのは？】

販売名	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 1,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 10,000JAU/mL	治療用ダニアレルゲン エキス皮下注「トリイ」 100,000JAU/mL
有効成分	コナヒョウヒダニ及びヤケヒョウヒダニから抽出したエキス		
添加物	濃グリセリン、フェノール、塩化ナトリウム、炭酸水素ナトリウム、pH調整剤		

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
 製造販売会社：鳥居薬品株式会社 (<https://www.torii.co.jp>)
 お客様相談室
 電話：0120-410-520
 受付時間：9時～17時30分
 （土、日、祝日、その他休業日を除く）